

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣飯 伸一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略グループ統括 (氏名) 小川 遼 TEL 03 (6801) 8402
 半期報告書提出予定日 2024年11月7日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	400	33.7	9	95.4	8	77.2	△0	-
2024年3月期中間期	299	2.2	4	-	4	-	△9	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△0.09	-
2024年3月期中間期	△1.88	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,534	1,300	84.7
2024年3月期	1,710	1,300	76.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,300百万円 2024年3月期 1,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2025年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定としております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,475	-	115	-	104	-	△48	-	△8.30

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は2025年3月期第3四半期から連結決算に移行します。連結業績予想につきましては、本日（2024年11月7日）公表いたしました「2025年3月期 中間期業績予想と実績の差異および通期連結業績予想の公表 並びに関連会社の吸収合併に伴う特別損失（段階取得に係る差損）の発生に関するお知らせ」をご覧ください。

(注3) 前連結会計期間は連結財務諸表を作成していないため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	5,168,000株	2024年3月期	5,168,000株
2025年3月期中間期	220,069株	2024年3月期	220,069株
2025年3月期中間期	4,947,931株	2024年3月期中間期	4,947,931株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、急激な為替変動や人手不足を背景とする物価上昇や、国際情勢の不安定な中でありながらも、横ばいの状況が続いております。また、各社でランサムウェアによる被害やシステム開発の遅延のニュースも頻発し、情報セキュリティの重要性、システム開発におけるトラブルが事業に与える影響の大きさを再認識する状況でありました。

当社を取り巻く環境においては、企業のDX推進への取り組みが継続していることを背景に、法人向け製品のうちロイヤリティ収入やパッケージ製品に加えて消防・防災向けライセンスが堅調に推移し、また、2023年9月1日付で吸収合併したコエステ株式会社のクラウドサービス「コエステーション」の売上と受託案件および自社IPである琴葉茜・葵の10周年記念ライブの開催や、A. I. VOICE2新規製品発売などが寄与し、前中間会計期間を大きく上回る結果となりましたが、受託案件が期初計画を下回ったことにより、売上高は期初計画を下回る結果となりました。

費用面においては、琴葉茜・葵の10周年記念ライブの開催費用や株式会社フュートレックとの2024年10月1日付け合併に向けた新たなコーポレートロゴ及びミッション・ビジョン・バリューの策定をはじめとした合併関連費用の発生が生じたものの、受託案件が計画を下回ったことにより原価の発生が抑えられ、また、広告宣伝費の抑制により、利益面においては計画より上振れた着地となりました。一方で、合併に向けたオフィス統合の為の本社増床工事に伴う固定資産除却損と繰延税金資産の減少が生じております。

この結果、当中間会計期間の売上高は400,452千円（前年同期比33.7%増）、営業利益は9,660千円（前年同期比95.4%増）、経常利益は8,578千円（前年同期比77.2%増）、中間純損失は465千円（前年同期は中間純損失9,303千円）となりました。

なお、当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、特性に応じた3つの区分別の売上高につきましては、法人向け製品184,267千円（前年同期比45.1%増）、法人向けサービス112,641千円（前年同期比17.7%増）、コンシューマー向け製品103,543千円（前年同期比34.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して175,265千円減少し、1,534,781千円となりました。これは主に、現金及び預金が183,049千円減少したことによるものです。

(負債)

当中間会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して174,799千円減少し、234,462千円となりました。これは主に、短期借入金が90,000千円、契約負債が44,859千円、社債が15,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して465千円減少し、1,300,319千円となりました。これは、利益剰余金が465千円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は84.7%（前事業年度末は76.1%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の中間期末残高は、前事業年度末と比較して183,049千円減少し、392,148千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動により支出した資金は、45,610千円（前年同期は34,693千円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益1,579千円の計上と、非資金項目として固定資産除却損6,999千円、減価償却費7,837千円があったものの、未払金の減少額23,056千円、契約負債の減少額44,859千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動により支出した資金は、32,033千円（前年同期は1,069,544千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出24,666千円、無形固定資産の取得による支出7,366千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動により支出した資金は、105,406千円（前年同期は171,198千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の減少額90,000千円、社債の償還による支出15,000千円等によるものです。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想については、本日、2024年11月7日公表の「2025年3月期 中間期業績予想と実績の差異および通期連結業績予想の公表 並びに関連会社の吸収合併に伴う特別損失（段階取得に係る差損）の発生に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	575,198	392,148
売掛金	89,692	89,020
商品及び製品	6,223	6,150
仕掛品	10,030	2,376
原材料及び貯蔵品	837	701
未収還付法人税等	2	5
その他	20,387	19,810
貸倒引当金	△529	△529
流動資産合計	701,842	509,684
固定資産		
有形固定資産	10,792	29,096
無形固定資産		
ソフトウェア	43,571	35,203
ソフトウェア仮勘定	-	10,983
無形固定資産合計	43,571	46,186
投資その他の資産		
関係会社株式	926,328	926,328
その他	24,470	20,782
投資その他の資産合計	950,798	947,111
固定資産合計	1,005,162	1,022,395
繰延資産		
社債発行費	3,041	2,701
繰延資産合計	3,041	2,701
資産合計	1,710,046	1,534,781
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,153	26,250
短期借入金	110,000	20,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	746	761
未払法人税等	265	265
契約負債	72,845	27,985
その他	77,605	38,937
流動負債合計	303,616	144,201
固定負債		
社債	105,000	90,000
リース債務	645	260
固定負債合計	105,645	90,260
負債合計	409,261	234,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	257,617	257,617
利益剰余金	1,230,234	1,229,769
自己株式	△287,067	△287,067
株主資本合計	1,300,784	1,300,319
純資産合計	1,300,784	1,300,319
負債純資産合計	1,710,046	1,534,781

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	299,609	400,452
売上原価	83,005	160,022
売上総利益	216,603	240,430
販売費及び一般管理費	211,659	230,770
営業利益	4,944	9,660
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	36
為替差益	1	-
講演料収入	18	-
還付加算金	30	-
業務受託料	600	-
未払配当金除斥益	47	37
その他	9	3
営業外収益合計	711	76
営業外費用		
支払利息	803	590
為替差損	-	228
社債発行費償却	11	339
営業外費用合計	814	1,159
経常利益	4,841	8,578
特別損失		
固定資産除却損	-	6,999
抱合せ株式消滅差損	13,066	-
投資有価証券評価損	2,353	-
特別損失合計	15,420	6,999
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△10,579	1,579
法人税、住民税及び事業税	192	264
法人税等調整額	△1,468	1,780
法人税等合計	△1,276	2,044
中間純損失(△)	△9,303	△465

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	△10,579	1,579
減価償却費	3,797	7,837
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	639	-
受取利息及び受取配当金	△4	△36
支払利息	803	590
固定資産除却損	-	6,999
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	13,066	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,353	-
売上債権の増減額 (△は増加)	12,220	672
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,929	7,862
仕入債務の増減額 (△は減少)	△767	14,096
未払金の増減額 (△は減少)	7,089	△23,056
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△1,440	-
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,532	△44,859
その他	8,162	△16,482
小計	28,879	△44,796
利息及び配当金の受取額	4	36
利息の支払額	△794	△587
法人税等の支払額	△426	△265
法人税等の還付額	7,030	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,693	△45,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△1,069,428	-
有形固定資産の取得による支出	△464	△24,666
無形固定資産の取得による支出	△572	△7,366
敷金及び保証金の回収による収入	921	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,069,544	△32,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	25,000	△90,000
社債の発行による収入	146,607	-
社債の償還による支出	-	△15,000
配当金の支払額	△54	△37
リース債務の返済による支出	△355	△369
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,198	△105,406
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△863,652	△183,049
現金及び現金同等物の期首残高	1,236,795	575,198
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	114,556	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	487,699	392,148

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（会社の合併）

当社及び株式会社フュートレック（以下「フュートレック」）は、2024年6月20日開催の当社の第21回定時株主総会及び2024年6月18日開催のフュートレックの第24期定時株主総会において、2024年10月1日を効力発生日として両社の合併につき承認可決され、2024年10月1日付で吸収合併いたしました。

1. 企業結合の目的

当社とフュートレックは、両社のこれまでの事業活動の成果である、顧客基盤や競争優位性のある技術・ソリューションを両社で共有し、「音声合成」及び「音声認識」双方に強みを持つことにより、音声関連技術を保有する研究開発企業として、国内の新たなトップランナーを目指してまいります。また、フュートレックのもう一つの中核事業であるCRM事業を中心としたデジタルマーケティング事業と音声関連技術事業の2つを事業の両輪として、企業価値の更なる向上を図ってまいります。加えて、経営統合によって企業規模の拡大が図られ、より強固な経営基盤の確立や管理部門の統合による経営機能のスリム化により収益力の向上の実現を目指してまいります。

2. 企業結合日

2024年10月1日

3. 吸収合併消滅会社の名称及び事業の内容

吸収合併消滅会社の名称 株式会社フュートレック

事業の内容 音声認識技術を利用したサービスの企画・提案、及びそれを実現するためのシステム設計
デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等

4. 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、フュートレックを吸収合併消滅会社とする吸収合併

5. 結合企業の名称

株式会社エーアイ

（英文表記：AI, Inc.）

6. 企業結合に係る割当ての内容

(1) 株式の種類別の合併比率

フュートレックの普通株式1株に対して、エーアイの普通株式0.33株を割当て交付いたしました。

(2) 合併比率の算定方法

本合併比率の公正性・妥当性を期すために、両社がそれぞれ別個に独立した第三者算定機関に合併比率の算定を依頼することとし、当社は監査法人FRIQを起用し、フュートレックは株式会社クリフィックスFASを起用いたしました。

当社及びフュートレックは、各社の第三者算定機関による算定結果及び法務アドバイザーの助言を参考に、かつ、両社それぞれが相手方に対して実施したデューデリジェンスの結果等を踏まえて、それぞれが両社の財務状況、資産状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案した上で、両社間で合併比率について慎重に交渉・協議を重ねた結果、最終的に本合併比率が妥当であるとの判断に至り、本合併契約を締結いたしました。

7. 引き継ぐ資産・負債の額

資産の額 1,501,733千円

負債の額 108,195千円

8. 合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 名称	株式会社エーアイ	株式会社フュートレック
(2) 所在地	東京都文京区西片一丁目15番15号	大阪市淀川区西中島六丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 廣飯 伸一	代表取締役社長 西田 明弘
(4) 事業内容	音声合成エンジン及び音声合成に関連するソリューションの提供	音声認識技術を利用したサービスの企画・提案、及びそれを実現するためのシステム設計 デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等
(5) 資本金	100,000千円	100,000千円
(6) 設立年月日	2003年4月1日	2000年4月17日
(7) 発行済株式数	5,168,000株	9,504,200株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 従業員数	単体65名	単体68名 連結91名

9. 合併の時期

取締役会決議日（両社）	2024年5月14日
契約締結日（両社）	2024年5月14日
株主総会基準日（両社）	2024年3月31日
株主総会決議日（フュートレック）	2024年6月18日
株主総会決議日（当社）	2024年6月20日
最終売買日（フュートレック）	2024年9月26日
上場廃止日（フュートレック）	2024年9月27日
合併の効力発生日	2024年10月1日

10. 合併後の状況

	吸収合併存続会社
(1) 名称	株式会社エーアイ
(2) 所在地	東京都文京区西片一丁目15番15号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 廣飯 伸一 (エーアイ 代表取締役社長)
(4) 取締役の氏名	取締役 (監査等委員である取締役を除く。) 廣飯 伸一 小川 遼 井上 将志 深田 俊明 長尾 章 (社外取締役) 監査等委員である取締役 栗原 学 (社外取締役) 杉山 浩 (社外取締役) 金丸 祐子 (社外取締役)
(5) 事業内容	音声関連技術の研究開発及び関連するサービス・ソリューションの企画・提供 デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等
(6) 資本金	100,000千円
(7) 決算期	3月31日
(8) 純資産	2,448,005千円 (2024年10月1日時点)
(9) 総資産	2,779,295千円 (2024年10月1日時点)

11. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん	金額	680,476千円
発生原因		株式の全取得
償却方法及び償却期間		定額法、10年

12. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2024年9月13日)に基づき、取得の取引として会計処理を行っております。